

Play is Pray キャスト・スタッフ プロフィール

クリエイティブ

	<p>藤井颯太郎（幻灯劇場）</p> <p>95年生まれの演劇作家・俳優。2013年 幻灯劇場を旗揚げ。旗揚げに際し書き下ろした戯曲『ミルユメコリオ』でせんだい短編戯曲賞を史上最年少受賞。</p> <p>近年は、THE GREATEST SHOW-NEN(ABC テレビ)にて A え!group と幻灯劇場がコラボレーションした音楽劇『鬱憤』や、ホテルを舞台にした宿泊型イマーシブシアター 泊まれる演劇『雨と花束』の脚本と演出、東京芸術劇場 DojoWIP『再生』の演出、日本センチュリー交響楽団と豊中市立文化芸術センターが製作する“センチュリー豊中名曲シリーズ”に四年に渡り小説を書き下ろすなど、多分野のアーティスト達と作品を作り続けている。2026年は舞台『光が死んだ夏』、『Play is Pray』、舞台『回復する人間』（原作ハン・ガン）、オーケストラの演奏会『初耳花言葉』、NODA・MAP『華氏マイナス320°』などの上演が控えている。</p> <p>Instagram : https://www.instagram.com/soutaroufujii x (Twitter) : https://x.com/tatukaze753?s=21</p>
	<p>水野蒼生（SSW / 作曲家 / 指揮者 / クラシカルDJ）</p> <p>オルタナティブ・クラシカルを提唱する音楽家。</p> <p>2018年に名門音楽レーベル「ドイツグラモフォン」から史上初のクラシック音楽専門DJとしてデビュー。</p> <p>国内外の様々なフェスやイベントに出演するほか、指揮者として葉加瀬太郎氏のオーケストラツアーに帯同し3度全国を周る。作編曲家としては2024年に小室哲哉氏によるオーケストラツアーにて氏の楽曲のオーケストラアレンジを担当するほか、劇伴やアーティストへの楽曲提供、ライブツアープロデュースなど様々なスタイルで活動を展開。これまでにクラシック音楽の再定義を試みるアルバムを4枚をリリース。2021年4月から2022年9月まで NHK ラジオ第一にてレギュラー番組「水野蒼生のミライのクラシック」パーソナリティを担当。オーストリア国立ザルツブルク・モーツァルテウム大学の指揮専攻第一ディプロム（学部相当）を首席で卒業。2026年春より京都芸術大学音楽コース講師。</p> <p>X: @aoi_mizuno Instagram: @aoi_mizuno_official</p>
	<p>本城祐哉（幻灯劇場 / ダンサー・音楽家・俳優）</p> <p>4才からクラシックバレエ、6才でジャズダンスとタップダンスを始める。</p> <p>10代でコンテンポラリーダンスに出会い、以降振付師としての活動も始める。</p> <p>2018年 Festival Tokyo ピチュ・克蘭チェン作 『MI(X)G』 出演</p> <p>2019年 横浜ダンスコレクション コンペティションII ファイナリスト</p> <p>2024年、フィジカルシアターユニット Ceremotion を立ち上げる。代表・振付師・音楽家として所属。同年、旗揚げ東北ツアーを東北の4都市で上演。</p> <p>2021年ごろより音楽家としての活動を開始。演劇やダンス作品への楽曲提供など多数。2024年1月、自身のオリジナル曲を収録した1st EP 『Reactivate』をリリース。各種楽曲配信サービスはこちら → https://linkco.re/scppRrHz</p>

キャスト

	<p>今井春菜（幻灯劇場）</p> <p>2013年、幻灯劇場の旗揚げに参加。俳優として『鬱憤』『フィストダイバー』『Waltz for Daddy』などの舞台に出演。音楽劇ではサクソで演奏に参加し、衣裳のスタイリングを担当することも。2022年からは、日本センチュリー交響楽団・豊中市立文化芸術センター主催の物語と連動する演奏会「センチュリー豊中名曲シリーズ」において、小説の朗読パフォーマンスに出演している。</p>
	<p>鳩川七海（幻灯劇場）</p> <p>兵庫県立宝塚北高校在学時に幻灯劇場の旗揚げに参加。その後イギリスに留学。舞台「ミルコメコリオ」で主演を務め、第一回関西演劇祭アクトレス賞受賞。野村有志監督「さなぎの猫」にて2024年メイ国際映画祭主演女優賞受賞。連続テレビ小説「おちょやん」「ブギウギ」「おむすび」や、舞台「光が死んだ夏」少年光役等、舞台や映像問わず多方面で頑張っている。</p>
	<p>中尾多福（幻灯劇場）</p> <p>高校生から演劇を始め、一人芝居『せかいのはじめ』で2017年大阪短編学生演劇祭最優秀賞、観客MVP役者賞、審査員MVP役者賞を受賞。2022年9月に幻灯劇場に入団。近年は『鬱憤』『フィストダイバー』などの劇団作品や、劇団不労社、泊まれる演劇などの外部作品にも出演。また、NHK連続テレビ小説『ばけばけ』など映像作品にも積極的に出演しており、2024年度からは高校演劇科の講師を務めるなど、活躍の場を拡げている。</p>
	<p>村上亮太郎（幻灯劇場）</p> <p>役者としてストレートプレイやフィジカルシアターなどで全国各地の劇場で出演をする傍ら、ハウスダンスやコンテンポラリーダンスを得意とし高い身体能力でジャンルの壁をマルチに横断し独自のアプローチで展開しているダンサーでもある。近年では振付やムーブメントディレクターとしても活動中。</p>

アンサンブル

	<p>林真子</p> <p>2001年生まれ、和歌山県出身。関西学院大学社会学部卒業。現在は舞台を中心に活動しつつ、インプロ(即興芝居)ショー「インプロせえへん？」や演劇教室「インプロぱれっと」の運営もがんばっている。</p> <p>X/Instagram アカウントは「@mako_hayashi_」フォローしてください～！</p>
 ©駒和樹	<p>山本真央 (創造Street)</p> <p>京都府出身。大阪芸術大学卒業。創造Streetという団体に所属し、関西を中心に活動している。ユリイカ百貨店、劇団 三毛猫座、劇団ヨアガキ、まど劇、安住の地など、京都の団体に出演することが多い。ドラえもんと同じ誕生日。</p> <p>X: @Mo2koam Instagram: @mo2koam</p>
 ©山田世紀末	<p>乱痴パック</p> <p>2000年生まれ。大学から演劇を始め、現在は舞夢プロに所属し、舞台、映像問わず多方面で活躍中。最近はずっと干し芋を食べている。</p> <p>X: @panchapancha__ Instagram: @yuz__tnk</p>
	<p>shinpei</p> <p>2000年11月14日生まれ。兵庫県出身。高校からダンスを習い始め、関西大手テーマパークや多数関西の施設にてダンサーとしての出演経歴を持つ。VOGUEを始めとするジャンルにて不気味でダークな雰囲気得意とする。1年間IT社員として働いたのち、会社を辞め、近年ではダンスの他、アクター、MC、演出、制作、謎解き作成など、多岐にわたり活躍中。</p>
	<p>横山一太 (TEAM GOAT)</p> <p>初めまして、この度アンサンブルキャストで参加しましたTEAM GOAT所属の横山一太です。一太は「いった」と読みます。大学の演劇部から始め、去年からたくさんさんの舞台に参加させていただきました。昨年の京都学生演劇祭にて俳優賞をいただきました。普段は会話劇をメインに活動しています。</p>

弦楽カルテット

	<p>巖崎友美 東京音楽大学付属高等学校、英国王立音楽大学を卒業。ケシュート・エイロン音楽祭、アフィニス夏の音楽祭、アンサンブルモデルンによる音楽祭等に参加。帯広市のレインボーホールにてレジデンスアーティストを勤めた。現在日本センチュリー交響楽団ヴァイオリン奏者。0歳からの音楽ワークショップ企画、古楽とモダン楽器の融合アンサンブルなども行っている。</p>
	<p>永松祐子 福岡県出身。6歳よりヴァイオリンを始め、三重県器楽コンクール第1位、全日本学生音楽コンクール名古屋大会奨励賞受賞。東京音楽大学入学後ヴィオラに転向し、東京藝術大学卒業。日本センチュリー交響楽団団員、室内楽や後進指導にも力を注ぐ。</p>
	<p>飯田隆 慶應義塾大学卒業後、桐朋学園大学音楽学部にて研鑽を積む。後にヴィオラへ転向し店村眞積氏に師事。2011年より日本センチュリー交響楽団所属。大阪を拠点にオーケストラのほか室内楽やソリストとしても積極的に演奏活動を行っている。</p>
	<p>三井脩平 愛媛県出身。15歳からコントラバスを始める。大阪音楽大学卒業。林俊武氏に師事。大阪チェンバーオーケストラ所属。コントラバスカルテット「BassBar」リーダー。日本センチュリー交響楽団契約団員。ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団コントラバス奏者。</p>